

中学校 外国語科 事例を通じた評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P56～62

外国語科 事例2

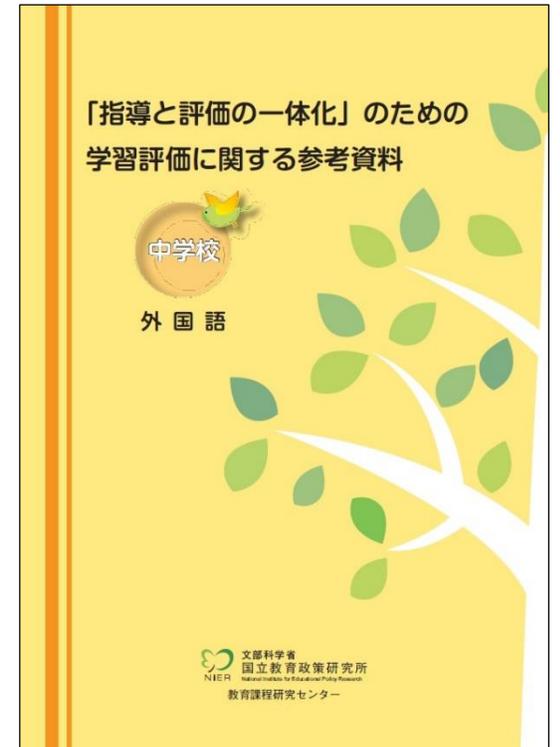
キーワード 「読むこと」における「思考・判断・表現」の評価

単元名

まとまりのある文章の必要な情報を読み取ったり、概要や要点を捉えたりする（第2学年 3学期）

内容のまとめ

「読むこと」イ、ウ



「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

1 単元の目標

あるテーマについての英文を読んで概要，要点を捉えるとともに，その内容を基に自分の意見や考えを伝え合ったり，意見文を書いたりすることができる。

2 単元の評価規準(「読むこと」)

基本的に「思考・判断・表現」と一体的に評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 比較表現や受け身に関する事項を理解している。 比較表現や受け身などの意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 	<p>あるテーマについての他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、英文の概要、要点を捉えている。</p> <p>～捉えている。</p>	<p>あるテーマについての他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、英文の概要、要点を捉えようとしている。</p> <p>～捉えようとしている。</p>

文末のみが異なっている

※実際の評価に当たっては、他領域(「話すこと[やり取り]」など)の評価規準を設定することも考えられる。

3 授業での評価について

第6時「思考・判断・表現(思判表)」

「主体的に学習に取り組む態度(態度)」の評価

時間	ねらい (■)・主な言語活動等 (丸数字)
6	<p>■意見文を読んで、概要や要点を捉え、自分の感想や考えを伝え合う。</p> <p>①教科書本文のテーマについて教師が書いた意見文を、第3, 4時に学習した読み方で読み、概要や要点を捉える (ワークシート)</p> <p>②書き手(教師)が一番伝えたいことに対する自分の考えなどを、引用しながら複数のペアと伝え合う。</p> <p>③自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>

事前の授業内で学習した読み方で読み、概要や要点を捉えているかどうかを、教科書本文のテーマについて教師が書いた意見文(ワークシート)を通して評価する。

※第1時～第5時は、記録に残す評価は行わない(指導に生かす評価は毎時間必ず行う)。

3 授業での評価について

事前の授業(第3・4時)に学習した読み方

3	<p>■教科書本文の要点を捉え、書き手の最も伝えたいことを伝え合う。</p> <p>①教科書本文(第1, 2時の続き)を読んで、書き手の最も伝えたいこと(要点)を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文のタイトルから要点を予想する。 ・本文を読んで予想があっていたかを確認する。また、要点だと判断した根拠となる英文を選ぶ。 <p>②第1～2時の②と同じ活動に繰り返し取り組む。</p>
4	<p>■教科書本文の概要や要点を捉え、伝え合う。</p> <p>①教科書本文(第3時の続き)を読み、要点や概要を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要を捉えるために、本文内容を表にまとめたり、マッピングを作成したりする。 ・要点を捉えるために、タイトルから予想したり、各段落にタイトルを付けて比較したりする。 <p>②内容を整理した表を使い、本文内容とその内容に対する自分の考えなどをペアで伝え合う。</p>

「思判表」・・・第6時において、これらの読み方で読み、その内容も適切である。
⇒「おおむね満足できる(b)」状況

「態度」・・・第6時において、これらの読み方で読もうとしている。その内容の適切さは問わない。
⇒「おおむね満足できる(b)」状況

上記の状況を達成していれば(b)、達成していなければ(c)、達成しそのうえプラスして満足できる状況が認められれば(a)と評価できる。

3 授業での評価について

授業内で以下のような指導を行うことが考えられる。

■必要な情報を読み取る場合

- ・目的や場面，状況などを設定し，自分が必要とする情報（数字や天気などのキーワード）が何か意識させてから読ませる。

■概要を捉える

- ・ペアで「5W1H」について質問し合いながら読ませる。
- ・図や表にまとめながら読ませる。
- ・時系列で書かれた文章は，時を表す語句に着目させて読ませる。
- ・各段落の最初の1～2文をまず読ませる。

■要点を捉える

- ・筆者の伝えたいことは何かを予想させたくうえで，読ませる。
- ・So, Therefore, In conclusion など結論等を表す語句に着目して読ませる。

3 授業での評価について

更なる指導として、例えば以下のものが考えられる。

- ・読む前に、絵や図に書かれていることについて生徒とやり取りをしながら、文章のキーワードに気付かせる。
- ・読む前に音声を聞かせる。
- ・物語などを読む際には、展開に合わせて絵を並べ替えさせる。
- ・意味のかたまりごとに英文にスラッシュを入れさせて（またはスラッシュを入れた本文を）読ませる。

特に「努力を要する(c)」状況と見取られる生徒は、授業等で上記等の手立てを講じる必要がある。

3 授業での評価について

- ・極力全員の学習状況を記録に残すよう努めるが、確実に全員分の記録を残すのは後日行うペーパーテストの機会とする。
- ・指導の改善や生徒の学習改善に生かすために、よい姿を示している生徒や課題がみられる生徒の学習状況（例：タイトルから予想したり、表やマッピングを活用したりして、要点や概要を捉えているか）を確認することは重要である。確認結果は単元や学期末の評価を総括する際に参考にすることができる。

4 ペーパーテストでの評価について

テスト例 ('思判表' を評価)

1 あなたと健司は二人でプレゼンテーションの原稿と表を作成することになりました。

The other day, I watched a TV program. Some young people went to an island and had to survive an island?

※問題文省略

【問1】プレゼンテーションで下のような表を提示することになりました。表中のA, B, Cに入る語を1つずつ書きなさい。(A~C 完答) ※「概要を捉えること」を評価する問題

	People on TV	Classmates
Most popular	Water	A
Second popular	Knife	B
Third popular	Lighter	C

(正解 : A...lighter, B...Knife, C...Water)

【問2】全校プレゼンテーション大会のプログラムに載せるため、このプレゼンテーションにどのようなタイトルを付けますか。下から選んでください。 ※「概要を捉えること」を評価する問題

- (1) The popular thing to research
- (2) The popular thing to use
- (3) The important thing to survive (正解)
- (4) The important thing to think

4 ペーパーテストでの評価について

テスト例 (「思判表」 を評価)

- ② 留学生のトムからあなたに次のようなメールがきました。トムはあなたに何を頼んでいるのでしょうか。アからエの中から1つ選びなさい。 ※「要点を捉えること」を評価する問題

Dear Yuki,

Hello. How are you? I'm fine, and I'm enjoying my life here in Japan.

When I was in Australia, I watched a Japanese TV program on food and found that Japan is famous for noodles. I learned Kagawa is famous for *udon*.

Last weekend, I went there with my family to eat *udon*. There are many *udon* restaurants in Kagawa and we visited 6 of them in one day. Each of us ate 6 bowls of *udon*! Can you believe that? I felt too full to eat any more at that time. However, now, I want to try them again. Anyway, I bought *udon* in Kagawa for you and your grandmother. I will bring them tomorrow so please take some to her. See you soon.

Tom

- ア テレビを見てほしい
- イ 届け物をしてほしい (正解)
- ウ うどんを作ってほしい
- エ 香川に連れて行ってほしい

4 ペーパーテストでの評価について

3学期末のペーパーテスト（期末テスト）で①【問1】、①【問2】、②の問題を出題した場合、正答数により当該ペーパーテストの結果を以下のように評価することが考えられる。

	「思考・判断・表現」の評価結果
3問とも正解だった場合	a
1～2問正解だった場合	b
3問とも不正解だった場合	c

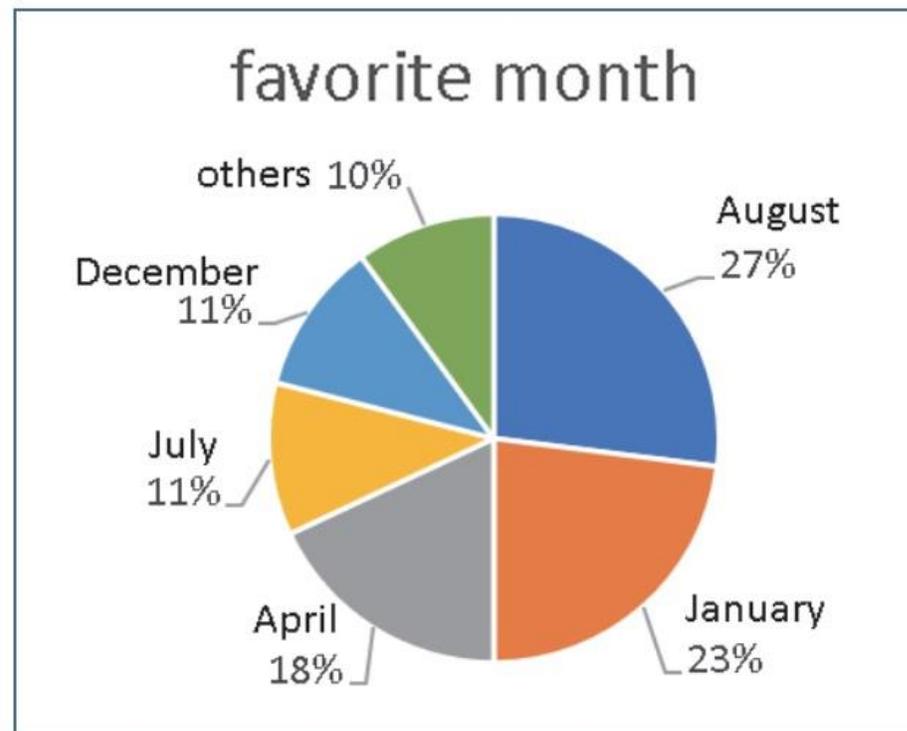
- ・上記はあくまで例であり、実際は各学校で定めた評価規準に応じ、ペーパーテストの内容などを勘案して判断する。
- ・記述式の問題であれば、記述内容により、各学校で定めた評価規準を満たしているかどうかを判断する。

4 ペーパーテストでの評価について

テスト例(「知識・技能」を評価)

下の円グラフは、中学生150人を対象に行われた「好きな月調べ」の調査結果です。この円グラフを表す英文として正しいものを選びなさい。

- ① January is the most popular month.
- ② July is not as popular as April.
- ③ April is more popular than any other months.
- ④ December is more popular than August.



(正解) ②

5 ペーパーテストの作成に当たって

「思判表」を問う問題として考えられる例

	解答形式	問題の種類
必要な情報	選択式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文 (プレゼンテーションやアナウンス) を聞いて、適切な表やグラフを選ぶ問題 (L) ・ 英文 (アナウンス等)などを聞いて、聞き手が次に取るべき行動を選ぶ問題 (L) ・ イベントのポスターから開催日時やタイムスケジュールを聞いたり読んだりして、自分がどの時間帯に参加するかを決める問題
	記述式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し手の状況や意向, 疑問を聞き取り, 助言や感想を記述する問題 (L) ・ イベント紹介のパンフレット等を読み自分の目的に合うものを選ぶ問題 (R)
概要	選択式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文の概要に合う絵や図, グラフ, 英文等を選ぶ問題 ・ 英文の概要に合うよう, 絵や図等を並べ替える問題 ・ 英文の概要をまとめた別の文章を選ぶ問題 ・ 英文の概要に合うトピックとその順番を選ぶ問題 ・ 時系列で話されたり書かれたりしている英文の内容に合うよう, 英文を並べ替える問題
	記述式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文の内容に合うように, 表やグラフ等の空欄を単語等で埋める問題 ・ 英文の概要を書く問題 ・ 英文全体の内容に合うようにタイトルを付ける問題
要点	選択式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文の要点に合う英文を選ぶ問題 ・ 英文の要点をまとめた別の文章を選ぶ問題
	記述式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文の重要な点に合うようにタイトルを付ける問題 ・ 英文の要点を書く問題 ・ 英文の要点について, 自分の意見 (賛否) とその理由を書く問題

(L)は「聞くこと」で使用できる問題、
 (R)は「読むこと」で使用できる問題、
 どちらの記載もない場合はいずれの領域でも使用できる問題を指す。

5 ペーパーテストの作成に当たって 問題作成の留意点等

- ・記述式の問題の解答形式については、単語で書かせたり、英文で書かせたりする場合は2～3文程度に留めるなど「書くこと」の負担を軽減する。また、「書くこと」の能力を問う問題にならないよう採点基準の設定に留意する。
- ・問題には、目的や場面、状況などを必ず設定する。
- ・「思判表」を評価する問題は、特定の言語材料を必ず使用しなければならないわけではない。「知識・技能」の問題は、特定の言語材料を必ず使用する。